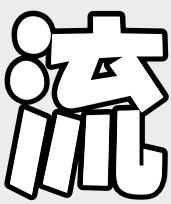


交本得られるもの~



訪問リポート

3月28日の早朝、日野町を出発した
訪問使節団7名は、9時30分中部国際
空港を離陸し、11時30分に予定どおり

▲恩山面事務所への表敬訪問

恩山別神祭交流使節団が 韓国恩山面を訪問

3月28日(金)～3月31日(月)



「国際交流」。それは、外国の各都市と交流することによって、より文化的・国際的なまちづくり・人づくりをもたらすものです。ここでは、3月末に韓国・中国で、それと交流して来られた報告と、交流によって得られた心のつながりについてご紹介します。

韓国仁川国際空港に着陸。ソウル駅から太田駅まで韓国的新幹線（KTX）を乗り継いで、扶餘郡恩山面へ到着しました。

同日の夕方、扶餘郡内のホテル会議室で、日野町と恩山面との通訳として活躍いたいた尹洪植氏（扶餘在住）に対して、日野町国際親善協会長、日野町長、大字小野区長から感謝状をお渡しし、親善交流に関する長年のご尽力に対して感謝の意を表しました。また、尹氏に替わり、新たに通訳をお願いすることになった金勵蘭氏（扶餘在住）ともお出会いし、今後の友好親善の促進を誓い合う出会いの場となりました。

翌29日に、恩山面事務所を表敬訪問。金昌九恩山面長、金鐘根扶餘郡議會議員をはじめとする恩山面の皆さんに歓迎していただき、友好親善の絆を確かめ合いました。

続いて、恩山初・中学校を表敬訪問。昨年、中学生使節団の団長として日野町を訪問された金鎮鐸校長先生らの歓迎を受け、一十設備が充実した教室などを案内していただききました。また、校門前の場所で、桜の記念植樹させていただき思い出に残る訪問となりました。

同日の夜9時、いよいよ別神祭のハイライトを見学。鬼室福信將軍像を祭る恩山別神堂の前では、たくさんの見物客の見守る中、赤・黄・黒・白・緑など、色鮮やかな衣装で、ラッパ・カネ・太鼓の賑やかな囃子が奏でられ、お祭り気分は最高潮。本堂では地元の役職の皆さんに続いて、西岡団長、渡邊小野区長さんもお参りをされました。

今から約1400年のむかし、西暦666

3年に百濟復興の戦いに命を賭けた鬼室福信將軍の活躍や、その援軍として遠征参戦した日本（倭国）水軍が大敗したとされる「白村江の戦い」など、百濟の都であつた扶餘が日本の歴史に大きく関わっています。扶餘が日本を通して感じられる、感謝深い訪問となりました。

▼恩山別神祭



今までお世話になつた尹洪植さんに感謝状を渡す西岡団長

【使節団の皆さん】 団長 西岡孫衛
団員 高田英徳 田嶋智恵 藤原和佳奈 渡邊藤三 森岡福夫（敬称略）
随行 高橋正一



▲恩山面の町並み

日野少年少女合唱団が 中国湖南省を訪問

3月25日(火)～29日(土)

国際
～異文化体験から



<訪問日程>

- 25日（火） 日野町出発 空路上海へ
26日（水） 長沙市へ
長沙市第十一中学校と音楽交流
友好交流25年記念活動開幕式出席
明徳中学校と音楽交流
27日（木） 長沙市から北京市へ移動
28日（金） 北京市内観光
29日（土） 空路日本へ 日野町着

交流会では▶
みんなで輪
になって歌
の交流

皆さんも、国際交流してみませんか？
お互いを知り、心のつながりを持つこと
で、より幅広いまちづくり・自分づくりを！

日野少年少女合唱団は、幼稚園児から大学生まで幅広い年齢層が練習と活動を重ねておられます。町内のイベントでも、すばらしいハーモニーを聞かせていただいています。今回、団員と指導者36名が、滋賀県と友好関係にある中国湖南省を訪問しました。2001年以来、2回目の訪問となりました。

音楽での交流が、それぞれの心のつながりをもたらし、友好の輪を広げるすばらしい体験となりました。

写真を中心に、臨場感あふれる報告をお届けします。



◀みんなで協力して、
“友誼の木”を植える

友好交流25周年▶
記念活動開幕式
で歌の交流



▲長沙市の学生たちと楽しくランチ



▲明徳の学生たちと合同ステージ
♪歌声与微笑(中国語) & 琵琶湖周航の歌(日本語)♪

日野中1年 赤尾 美保

はじめての海外旅行でとても心配でしたが、行ってみればとてもいいところでした。

何よりも交流した人たちがとても温かい人たちばかりで、すぐに仲良くなれました。中国の人は英語がとても上手です。私も英語を話すことができたら、もっと会話できたのにと思いました。しっかり英語を勉強して、また会えたらいいなと思います。帰ってからテレビで中国が映ると、「ここ通った所だ」「あそこ行ったなあ」と思い出しています。私たちにお世話してくださったみなさんに「ありがとうございます」の気持ちでいっぱいです。

日野中1年 赤尾 美保